

＜講義紹介＞

経営学特別講義「我が社の経営にとって京都とは」

龍谷大学経営学部教授

山西 万三

龍谷大学・京都産業学センターの事業の一環として、経営学特別講義・「我が社の経営にとって京都とは」という講義を提供しています。受講対象者は、龍谷大学経営学部3回生、4回生です。「我が社の経営にとって京都とは」、聞きなれない講義タイトルと思われるかと思います。以下、簡単にですが、この講義について説明させていただきます。

この講義は、多様な京都企業の経営者の皆様にお願ひして、「我が社の経営」を語って頂くとともに、「我が社の経営」にとって京都という環境がどのような意味や意義をもっているかということをお話いただいています。経営者の皆様の肉声で京都企業の経営の實際を親しく学ばせていただくことができる貴重な講義です。同時に、京都企業が京都にあることの意味や意義をお話いただくことによって、京都企業から学ぶことができる講義でもあるわけです。産業は企業の集合ともとらえることができますが、京都企業に学ぶこと、京都企業から学ぶことは、京都の産業に学び、京都の産業から学ぶことにつながります。

経営学特別講義のスケジュールと構成は、別表の通りです。講義の前段は教員によって京都の企業や産業に関する理解を促進するための一般的知識を中心にしたスケジュールを組んでいます。そして講義の中段・後段で京都企業の経営者の皆様からのご講義を頂いています。

実は、この講義は、龍谷大学・京都産業学センター設立趣旨である、「京都産業を学ぶ」だけでなく「京都産業から学ぶ」（京都産業学センター開設趣意書・前文）、に基づく講義として開講しています。この講義では、講師の皆様にご無理をお願いして「講義録」を作成しています。「講義録」を通して、広く、学生・大学院生・教員がともに学べるようになりますし、「講義録」は京都の産業・企業のこれからを考える素材ともなるのではないかと考えています。

経営学特別講義「我が社の経営にとって京都とは」

この特別講義の受講者からは、「経営者の皆様の講義を聞いてこれまで経営学を学んできたことと実際の企業のことが結びついた」、「この講義を聞いていたら、就職活動も違っていた」、「京都企業に就職したい」、「起業したい」といった声も聞かれ、学生にとってもたいへんインパクトのある講義です。

〈参考〉

■ 2012 年度「経営学特別講義 特講・我が社の経営にとって京都とは」 スケジュール（火曜日 4 講時）

回数	講義日	講師	講義内容
1	2012年9月25日	山西万三（教員）	京都企業・京都産業の概要
2	2012年10月2日	須川恒（教員）	京都の自然と産業
3	2012年10月9日	佐藤敬二（教員）	京都の文化と産業
4	2012年10月16日	由井浩（教員）	島津製作所の事例研究
5	2012年10月23日	中西隆太郎・中西印刷株式会社社長	招聘講義
6	2012年10月30日	前田拓巳・島津製作所技術推進部長・理事	招聘講義
7	2012年11月6日	川勝哲夫・京都中央信用金庫常務理事	招聘講義
8	2012年11月13日	齊藤透・齊藤酒造社長	招聘講義
9	2012年11月20日	小堀賢一・株式会社小堀取締役社長	招聘講義
10	2012年11月27日	上田耕司・株式会社かね松老舗社長	招聘講義
11	2012年12月4日	畑正高・松栄堂社長	招聘講義
12	2012年12月11日	石田隆英・株式会社インダ代表取締役社長	招聘講義
13	2012年12月18日	天野嘉一・日新電機株式会社代表取締役会長	招聘講義
14	2013年1月8日	山西万三（教員）	京都の信用金庫の事例
15	2013年1月15日	山西万三（教員）	まとめ

（2013 年度の講義は、講義名称を「我が社の経営と京都」と改めます。）